

# ユニバーサルツーリズムの持続的な取り組み 「行けるところを探すのではなく、 行きたいところへ」

本講演では、ユニバーサルツーリズムの先進的な取り組みについて、伊勢志摩バリアフリーツアーセンターから野口あゆみ氏と野口幸一氏をお招きしてこれまでの活動と、障害者ヨット体験「セイラビリティ伊勢」の実践例を紹介し議論します。

野口あゆみ氏からは、バリアフリー観光の相談窓口や「パーソナルバリアフリー基準」、国立公園や伊勢神宮での受入体制の整備、情報発信の重要性についてお話しいただきます。さらに、マラソンイベントなどにおけるリピーターの多さの背景や、誰もが「行きたいところへ行ける」観光のあり方を共有します。野口幸一氏からは、視覚障害者でも安全に操船できるナビシステム「B-SAM」の開発や、障害のある方の「したい気持ち」に寄り添う支援の重要性を、実体験を通じて語っていただきます。講演では、単なるバリアフリーにとどまらず、共感・準備・挑戦の姿勢が、誰もが楽しめる観光を実現する鍵であることを学びます。



主催：山口大学 経済学部 観光政策学科

日時：2025年6月26日(木) 10:30~12:00

会場：山口大学経済学部吉田キャンパス第1大講義室

※ 入場無料、事前申し込み不要

## 【講演者プロフィール】



野口あゆみ氏：

1971年（昭和46年）、三重県伊勢市生まれ。2000年、後に夫となる野口幸一との出会いをきっかけに、仲間と共にバリアフリー活動を開始。2002年に伊勢志摩バリアフリーツアーセンターの事務局長に就任。「行けるところを探すのではなく、行きたいところへ」を実践するために、現在も奔走し続けている。

野口幸一氏：

1971年（昭和46年）、三重県伊勢市生まれ。20歳の時、バイク事故により車いす生活になるが、持ち前の行動力で、ヨット、レーシングカート、ハンドサイクルなど様々なアクティビティに挑戦。現在は三重県職員として働きながら、理事として伊勢志摩バリアフリーツアーセンターの活動をサポートしている。